

東京都とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都世田谷区桜新町 2-12-4
園名	ベネッセ桜新町保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「感性と表現」絵本、積み木、光
～絵本：葉っぱのフレディを通した心の動きに着目する1年～

<テーマの設定理由>

今年度は「素材研究」をテーマとし、日常保育にある素材である絵本や積み木に着目することで、その価値を改めて捉え直し、素材と関わる子どもの興味・関心や「すくすく・わくわく」を引き出すことを目指している。園の外部環境として、老人ホーム・学童・保育園の合築施設である強みを生かし、実践の積み重ねを通して、世代間交流や子ども一人ひとりの表現力・言葉の力の育ちにつなげていく。

本実践では、絵本『葉っぱのフレディ』を題材に、命の大切さや相手の気持ちを想像する経験へとつなげることをねらいとした。子ども同士が思いを伝え合う中で異なる意見に出会い、共感や心の動きを経験すること、また、言葉を発しない存在にも思いを見出そうとする姿を大切にしながら、一人ひとりの内面にある考えを引き出していくことを目指した。

2. 活動スケジュール

- ① 自己紹介：好きな絵本や遊びの共有
- ② 影絵との出会い：葉っぱの気持ちの共有
- ③ 友達との考え方の共有：自分とは異なる友達の気持ちを発見
- ④ 葉っぱと過ごす：葉っぱと触れ合い、気持ちを感じる

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

自己紹介から始まり、影絵による絵本体験、園外での自然探索、そして自然物を用いた制作活動へと展開した。

絵本の読み合いや体験活動を通して、子どもたちは「フレディ（葉っぱ）」を身近な存在として捉え、季節の移り変わりや命のつながりについて考えを深めていった。

また、補助金で購入した積み木や絵本を活用し、物語の場面を再現したり、自分なりのイメージを形にしたりする姿が見られ、探究活動の広がりにつながった。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

自己紹介から始まり、影絵による絵本体験、園外での自然探索、そして自然物を用いた制作活動へと展開した。

絵本の読み合いや体験活動を通して、子どもたちは「フレディ（葉っぱ）」を身近な存在として捉え、季節の移り変わりや命のつながりについて考えを深めていった。

また、補助金で購入した積木や絵本を活用し、物語の場면을再現したり、自分なりのイメージを形にしたりする姿が見られ、探究活動の広がりにつながった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

初回は緊張した様子も見られたが、「好きなもの」を伝え合う中で安心して発言する姿へと変化し、活動への期待が高まっていった。

影絵活動では「葉っぱに気持ちはあるのか」という問いに対し、「痛いかも」「何も感じない」など多様な意見が出て、価値観の違いが表れていた。

園外活動では落ち葉を「フレディかな」と捉えたり、友だちと発見を共有したりする中で、自然物への関心が高まった。

持ち帰った自然物を大切に扱い、「植えたらまた葉っぱになるかも」と想像を広げたり、制作では修復する姿やそれを認め合う関わりが見られた。

振り返りでは「また探しに行こう」「仲間を増やしたい」といった声が聞かれ、命のつながりへの意識の育ちがうかがえた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

活動を重ねる中で、子どもたちの価値観が変化し、「葉っぱに命はない」という捉えから、命のつながりを意識した発言へと育ちが見られた。

子ども同士の対話や体験の共有を通して、異なる意見に触れることが新たな気づきや感情の芽生えにつながっていた。

同じテーマを継続して探究したことで、活動が一過性に終わらず、その後の遊びや関心へと広がっていった。

少人数での丁寧な関わりや、意見を否定しない雰囲気づくりが主体的な発言を引き出し、抽象的な「命」のテーマも子どもなりの理解へとつながっていた。

